



# URL 一覧作成マクロ

## 使い方ガイド

2021/04/28 初版発行

2021/05/03 ライセンス登録の自動化を反映

2021/05/07 フォルダー指定と addr2 生成追加を反映

2021/06/08 旧版からの移行方法を追加

2021/06/16 ライセンス登録に設定を追加

## 目次

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 本マクロの目的 .....                     | 2 |
| インストール .....                      | 2 |
| 実行前の準備 .....                      | 2 |
| 旧版をお使いの方へ.....                    | 2 |
| ライセンスの登録方法.....                   | 2 |
| メール本文の URL 一覧作成マクロ .....          | 4 |
| コード生成マクロ .....                    | 4 |
| メール本文の URL 一覧作成マクロ(フォルダー指定) ..... | 5 |
| アンインストール .....                    | 5 |

## 本マクロの目的

Outlook 内の全メールを読み取り、URL の一覧を作成する。

- メール本文から A タグを読み取り、国別に「URL 一覧」シートに書き出す。
- 抽出した URL から、「Outlook お助けマクロ」の VBA コードを作成できる。
- 特定のフォルダーを指定して、国別に「URL 一覧」シートに書き出すマクロも用意した。

## インストール

本 Excel ファイルのみ。

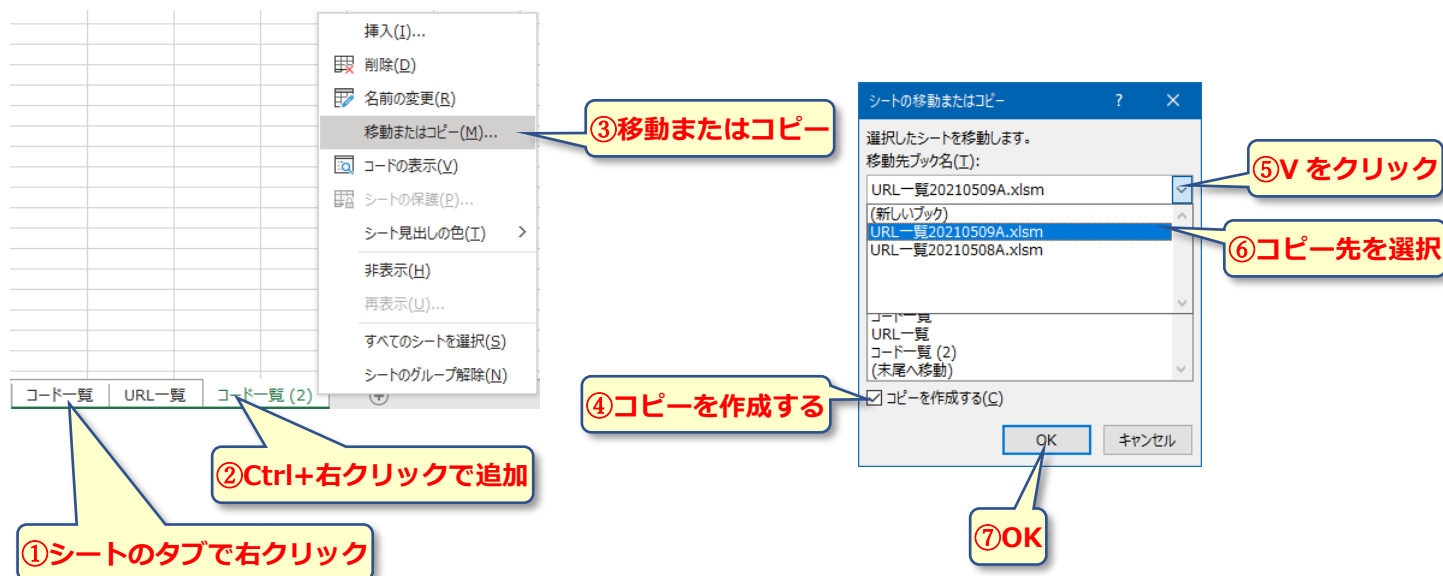
## 実行前の準備

本マクロ実行前に、Outlook が**起動**されている事。

## 旧版をお使いの方へ

旧版のライセンスコードはそのまま使えるため、買い換える必要は無い。

旧版のデータは、シートのコピー機能を使えば、生かすことができる。

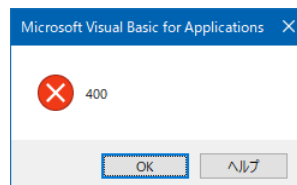
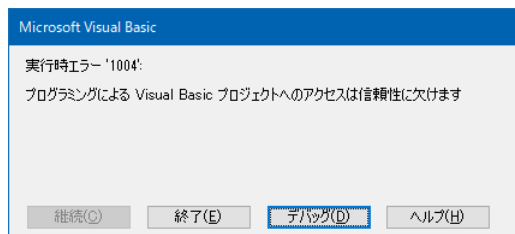


## ライセンスの登録方法

ライセンスを登録し、VBA コードを開放するには、以下の手順が必要である。

### 1. VBAProject へのアクセスの許可

これを行なわないと、以下のどちらかのエラーが出る。



以下の手順で許可すること。

①バーナーのv

②その他のコマンド

③リボンのユーザー設定

④開発

⑤OK

⑥開発

⑦マクロのセキュリティ

⑧マクロの設定

⑨VBAプロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する

⑩OK

## 2. ライセンスコードの登録

「マクロ」シートの「ライセンスコード」欄に、メールからコピーしたライセンスコードを貼り付け、その後実行する。

ライセンスを登録する

## 3. セキュリティコードの削除

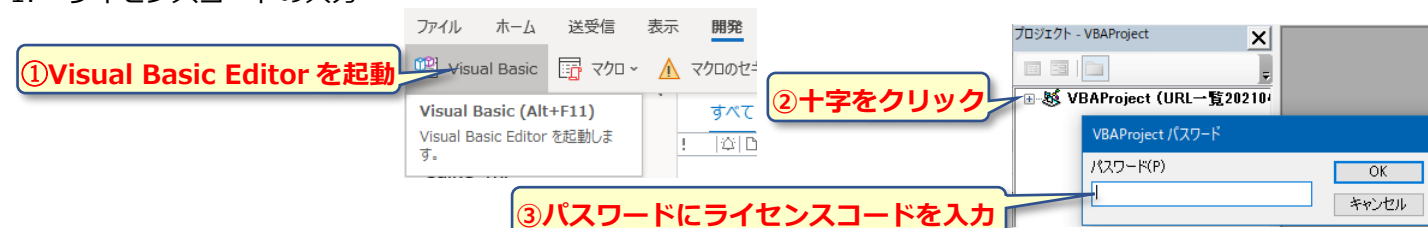
2.を実行後、実行する。

セキュリティを解除する

実行後、「NumLock」が外れることがある。注意すること。

自動実行が上手く動かない場合、以下の手順で手動解除する。

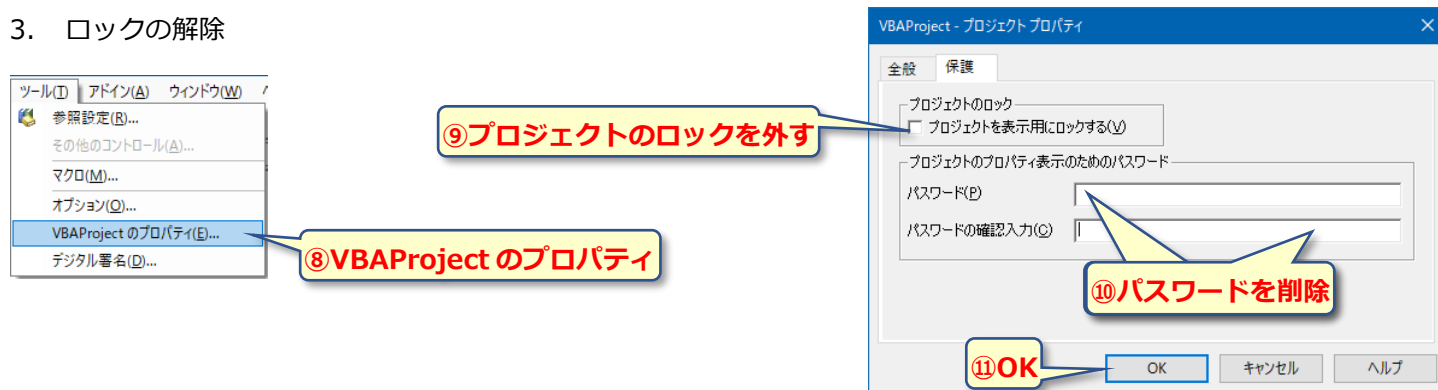
### 1. ライセンスコードの入力



### 2. セキュリティコードの削除



### 3. ロックの解除



## メール本文の URL 一覧作成マクロ

全てのフォルダーを巡回し、メール本文から A タグを読み取り、国別に「URL 一覧」シートに書き出すマクロ。

#### 1. 実行の前に、除外国名を指定する。今設定しているのは、

- .jp(日本)
- .com(米国企業)

その他は、そう多くないと思われるので、実行後、取捨選択しても良い。

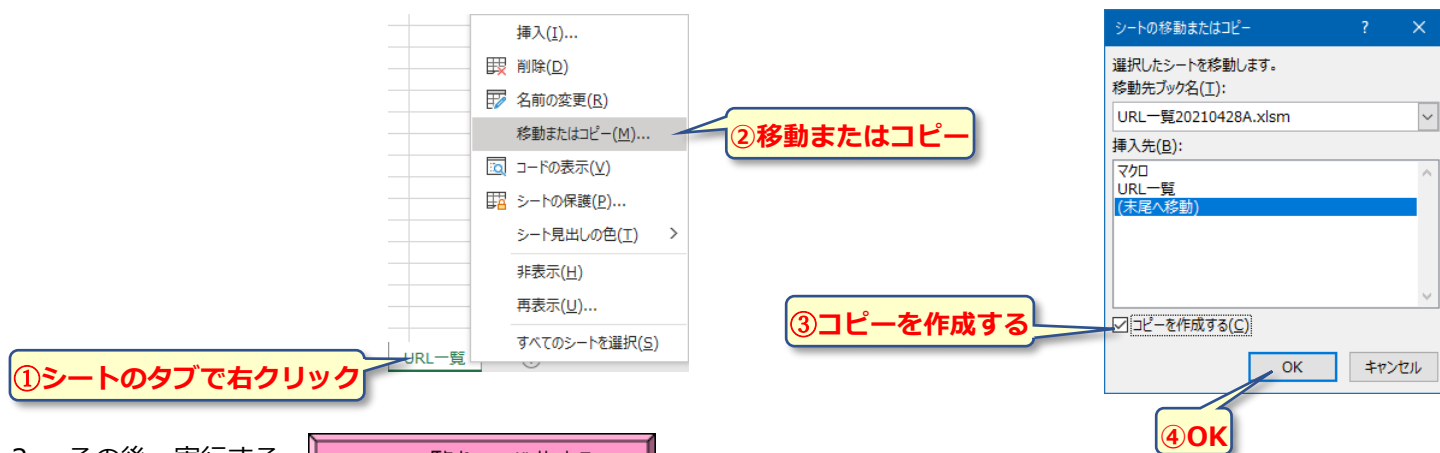
#### 2. その後、実行する。

URL一覧を作成する

## コード生成マクロ

抽出した URL から、「Outlook お助けマクロ」の VBA コードを作成するマクロ。

#### 1. 実行の前に、上で作成した「URL 一覧」シートをコピーし、不要な列を削除する。



2. その後、実行する。 URL一覧をコード化する

3. できたコードを「Outlook お助けマクロ」の Module2/sortMails() の addr3 と addr2 にコピーする。

addr3/addr2 の添え字は、行数に連動している。従って、

- 行の入れ替えが可能。
- 行を追加すれば、添え字の開始番号を変えられる。
- 削除も可能。(削除は左隣の列と一緒にすること)

```
addr3(0) = "nablog.net"
addr3(1) = "ec-shopping.net"
addr3(2) = "kojima.net"
```

## メール本文の URL 一覧作成マクロ(フォルダー指定)

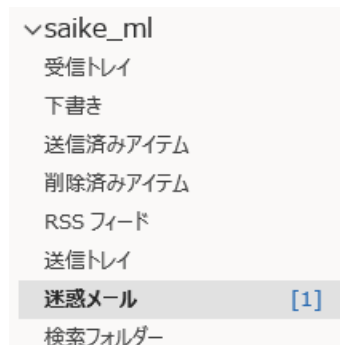
特定のフォルダーを指定して、メール本文から A タグを読み取り、国別に「URL 一覧」シートに書き出すマクロ。

実行の前に、購入お知らせメールが置いてあるメールフォルダー名を指定する。以下の3種を想定している。

- アカウントの受信フォルダー
- アカウントの下フォルダー
- 別途作ったフォルダーの下のサブフォルダー

いずれにしても、ユニークな名前が付いているならば、そのフォルダー名のみ指定する。

重複している場合、その親フォルダーから指定する。



例えば、左のように重複した「迷惑メール」と言うフォルダー名を使用し、

saike-ml-迷惑メールの方のフォルダーを指定したい場合は、以下のように指定する。

| メールフォルダー名 |
|-----------|
| saike_ml  |
| 迷惑メール     |

その後、実行する。

URL一覧をコード化する

## アンインストール

本 Excel ファイルの削除のみ。